



南海トラフを震源とする巨大地震に備え津波を想定した地震・津波避難訓練が、2月5日(火)、横瀬地区において実施されました。

避難訓練には、横瀬海岸に面する住民や大丸小学校児童など約200人が参加しました。

午前9時に「震度6弱の地震が発生」と放送が流れると大丸小学校の児童らは、机の下に避難し落下物に備えました。その後、大津波警報が発令され、高台の第一次避難所に指定された東千草公民館へ避難を始めました。

同小学校から避難所までは約2km。突発的な地震や津波に対応できるように避難ルートや避難時間を確認しました。

続々と集まってきた避難所では、点呼、要援護者の確認作業が行われました。

大隅曾於地区消防組合の徳田署長は、「高台への迅速な避難が命を救う。震災の教訓を踏まえて繰り返し訓練することが重要。」と呼びかけました。

横瀬地区地震・津波避難訓練

高台への迅速な避難が命を救う

